



IT日本語(3)

12 間違えやすい日本語(2)

目的と目標

授業の目的と目標

この授業の目的:

- 日本語のあいまい表現や、間違えやすい表現を理解する
- 日本人でも間違えることや結論をハッキリしない表現を理解すること

この授業の目標:

- あいまい表現や間違えやすい表現に気づいてそれを確認することができる
- 確定したことを正しい表現でビジネス文書にできる

目次

- 0. 小テスト(力試し)
 - 1. 小テスト(力試し)の解説
 - 2. IT業界で間違えることの影響
 - 3. ケーススタディ1
 - 4. ケーススタディ2
 - 4. 小テスト
 - 5. 宿題
- 目標管理シート見直し及び自己評価

The background of the slide is a composite image. It features Mount Fuji in the distance, its peak partially covered in snow and surrounded by soft, white clouds. In the foreground, there are dense, vibrant pink cherry blossom trees. To the right, a portion of a traditional Japanese temple with multiple tiers of dark green tiled roofs and red wooden railings is visible. The entire scene is set against a clear blue sky.

小テスト (力試し)

小テスト 力試し

まず、みなさんの日本語力について調査させてください

力試しのつもりでこの小テストをしてみてください

URLをチャットで送ります。

全部で10問あります

このテストは評価しません、気楽に解いてみてください

但し授業の終わりに**評価のための10問の確認テスト**をします

Submit後は「**View Score**」にします

制限時間: 10分



小テストの解説

力試しテスト 解説

力試しテストについて解説します

自分の回答を見ながら聞いてください



IT業界で間違えることの影響

IT業界で間違えることの影響

外国人が日本のIT業界で働いていて、間違えることの影響について考えてみます。

言い間違い 書き間違い	本人は一瞬、恥ずかしい思いをするかもしれませんが、仕事に大きな影響は与えません。もし相手がそれを指摘してくれれば、次から直せばいいだけです。 指摘はなくても、 <u>相手は言い間違いや書き間違いを、脳内変換してくれている</u> と思います。
聞き間違い 読み間違い	これは、確実に仕事に影響を与えます。 <u>機能要件や実行の有無(うむ)の誤判断はトラブルの原因</u> になります。 それは本人のせいだけではなく、 <u>日本語のあいまい表現や、日本人のYes/Noなどハッキリ断定した言い方を嫌う</u> ことにもあります。

IT業界で間違えることの影響

日本のIT業界で働いている外国人が気をつけるべき大事なこと

- ❑ 相手が話していることの内容で、わからないこと、どちらか判断がつかないことに気づくこと
- ❑ わからないことや判断がつかないことに気づいたらそれを確認できること



IT業界で間違えることの影響

今日は、ケーススタディで下記の項目について練習します。

- ❑ 仕事上で交わされる会話の中から、間違いやどちらか判断がつかないものに気づくことを練習します。
- ❑ そして、それらをクッション言葉や言い換えを使って、相手に悪い感情を持たれないように確認する練習をします。



ケーススタディ1

間違え、あいまいに気づく

- ・決定事項と未決(みけつ)事項

決定事項: 5W1Hで表現できる(不要項目もある)

未決事項: 5W1Hで表現できない

e.g. 1. 本日PM2時にA会議室でグループMTG実施

When: 本日PM2時

Where: A会議室

Who: グループメンバー

What: グループMTG

Why: 打合せ、報告等当然なので省略

How: MTGのやり方は決まっているので省略

2. 本日午後MTG実施

When、Where、Who、が不明

間違え、あいまいに気づく

- ・話の前後で脈絡※が合わない

e.g.グループ長が朝会でメンバーに連絡事項を伝えています。

- 1.お客様が明日の午後1時30分に来社されます。
グループ全員でお客様をお迎えします。
- 2.明日の午後のMTGはいつも通り午後1時から1時間なので、
議題についてよく読んで考えておくように。
それとみんな、遅れないようにしてください。

※みゃくりゃく: (話の)つながった道筋 (Cốt truyện)

ケーススタディ1

ケーススタディの手順

- 1) ブレークアウトルームで4~5人のチームに分かれます。
- 2) 下記のファイルにアクセスして、ファイルをコピー（Make a copy）します。

<https://sal.vn/aWZtZ2>

- 3) ファイル名をワークファイル_チーム名に変更して下記のフォルダーに保存します。

<https://sal.vn/RV600W>

- 4) チームで話し合います。
- 5) ワークファイルに結果を記入します。
- 6) チームで発表します。

ケーススタディ1

上司からタスクのアサインとその内容説明の場面です。
決定項目と間違いなど確認が必要な項目を見つけます。

上司 : あっ、Dungさん話があるので午後來てくれる？

Dung: ハイ、わかりました。

午後

上司 : あの件だけど、Dungさんに担当してもらいたいんだ。

Dung: わかりました。

上司 : メンバーはDungさんが選んでくれていいよ。

Dung: 私が選んでいいんですね。

上司 : ああ、任せろよ。詳細は営業さんに聞いてね。

Dung: 営業部のひとですね。

上司 : そう、予算はいいところで頼むよ。

Dung: ハイ、わかりました。

上司 : それじゃよろしく。



ケーススタディ2

相手に失礼にならないように確認する

- ・復唱※して確認する

注) まったく同じことを繰り返すと「オウム返し」と言って失礼に当たることもあります。

e.g. タスクのアサインの場面

上司: A社のECサイト構築はRuby on Rails6で開発するが
適合するPostgreSQLのバージョンを調査してください。
回答は明日の午前中までにお願いします。

あなた: ハイ、Ruby on Rails6に適合するPostgreSQLの
バージョンの調査ですね。期限は明日の午前中ですね。

※ふくしょう: 言われたことを自分も同じようにいう (Nói lại)

相手に失礼にならないように確認する

- ・言い換え

相手の間違った表現をストレートに指摘すると相手が気分を害する可能性があります。

e.g. 12月15日に実施の打ち合わせで、次の予定について
相手：次の打合せは翌週の同じ時間にしましょう

あなた：翌週の同じ時間ということは、12月22日水曜日の
同じ時間14:00からということですね。

相手に失礼にならないように確認する

・クッション言葉

相手の間違った表現をストレートに指摘すると相手が気分を害する可能性があります。

e.g. 12月15日に実施の打ち合わせで、次の予定について

打合せの中でAさんは来週の22日は出張である話があった。

Aさん: 次の打合せは翌週の同じ時間にしましょう

あなた: 申し訳ありませんが、翌週の同じ時間というと、12月

22日の水曜日午後14時ということですが、先ほどAさん

22日はご出張とおっしゃっていましたと思いますが。

は

ケーススタディ2

ケーススタディの手順

- 1) ブレークアウトルームで4~5人のチームに分かれます。
ワークファイルの5ページ目を開きます
- 2) ケーススタディ1で見つけた間違いや確認が必要な項目を
上司に失礼にならないように、復唱、言い換え、クッション言葉を使って、確認の仕方を書きます。
- 3) チームで話し合います。
- 4) ワークファイルに結果を記入します。
- 5) チームで発表します。

ケーススタディ1の間違え、あいまいを確認します

- ・午後とは何時？
- ・あの件とは何の件？
- ・メンバーは選んでくれていい？誰でもどの部署の人でも？
- ・営業って誰？
- ・予算のいいところっていくら？

他・・・

小テスト

小テスト

今日の授業の確認テストを行います
最初の力試しと授業な内容が出題範囲です
チャットでURLを送付します

制限時間: 10分

このテストは評価します



宿題

目標管理のおさらい

目標設定について
簡単におさらいします。
3回目の授業でうまく設定できなかった人は、もう一度振り返って
修正しましょう。

※実際に会社に入って目標管理する場合でも、状況によっては期中
レビュー時に、目標項目そのものを変えてもことがあります。



前提

当資料は目的と目標について下記項目に絞って説明しています

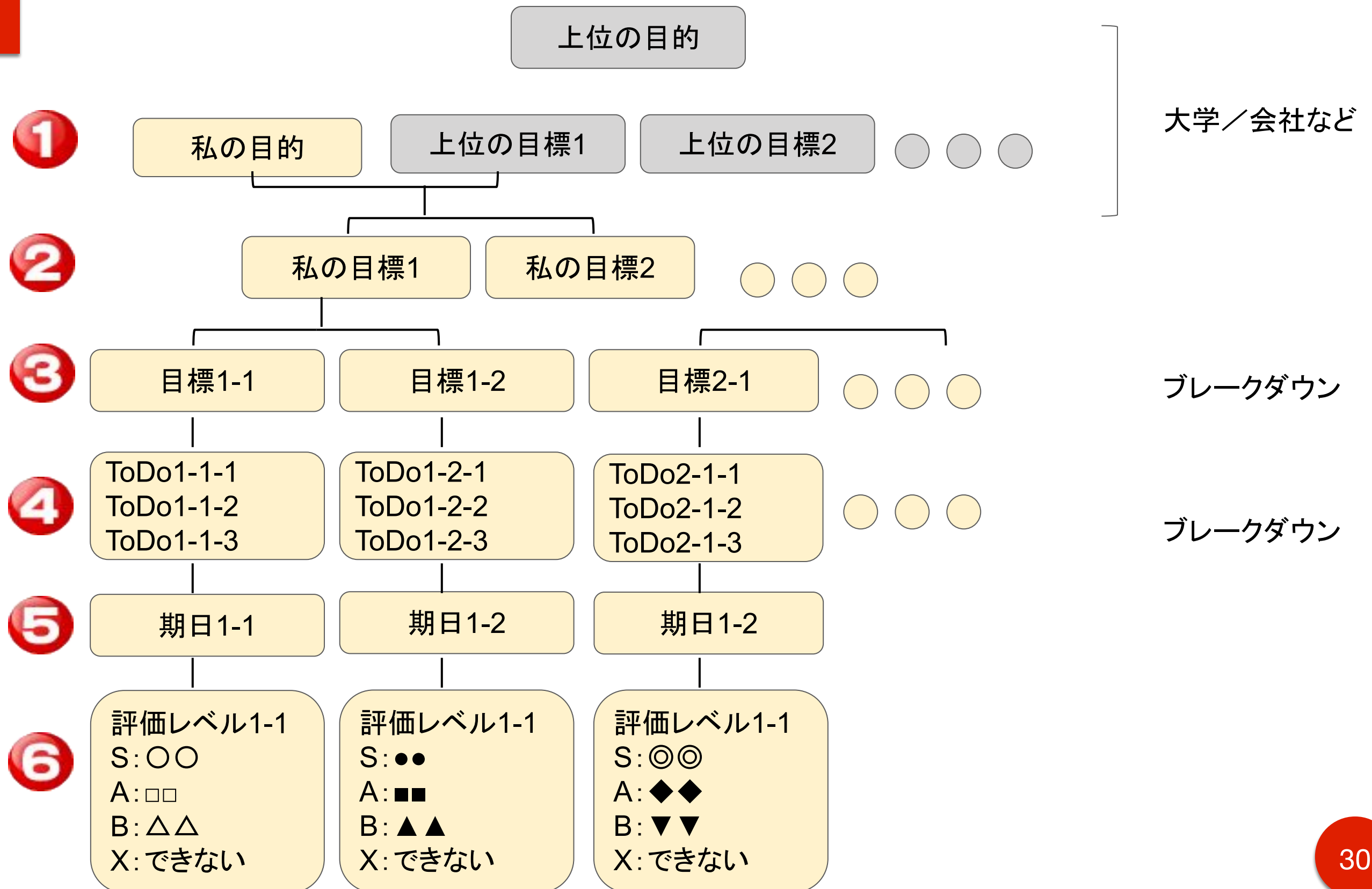
- ・目標項目のブレークダウン
- ・優先順位
- ・評価レベル
- ・期日
- ・ToDo

授業で習った「KGI、KPI、OKR」は一旦忘れてください
会社に入ったら使う言葉だから今は「そんな言葉もある」
ぐらいの認識で結構です

目標設定シートのKGIも「私の目的」と当てはめてください

目標の全体像

目的・目標・評価レベル・期日・ToDoの全体像



1 目的

「目的」はそれぞれにあります

大学の目的	優秀な学生を輩出※する
-------	-------------

先生の目的	学生を優秀なIT人材に育てる
-------	----------------

私の目的	日本のIT企業に就職する
------	--------------

上位
(私にとって)

「目的」はそれぞれちがっても、目指す方向は同じ

※ はいしゅつ: 優秀な人材が続々と世に出ること

① 目的（目指す方向について）

前のページ例を今回の宿題に当てはめると

先生の目的	学生を優秀なIT人材に育てる
-------	----------------



授業のKGI	日本のIT企業で力を発揮できるIT人材になる
--------	------------------------

私の目的	日本のIT企業に就職する
------	--------------



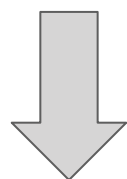
チーム(私) のKGI	「.....」
----------------	---------

「目的」はそれぞれちがっても、目指す方向は同じ

だって、みなさんは同じ(ような)目的をもって、この学部に入ってきたはず

② 目標(項目)

私の目的	日本のIT企業に就職する
------	--------------



目的を達成するために必要なこと

目標1	4年生の科目、全てに合格する
目標2	日本語能力を向上させる
目標3	ITスキルを橋上させる
目標4	サンプルなので 目標4,5,6,7,8は省略しています
目標5	
目標6	
目標7	
目標8	

目標の実施期間は6か月から1年程度

大学に入った**目的**はひとつでも、目標は「**半年／1年**」で変わる

③ 目標項目ブレークダウン

目標1	4年生の科目を全て合格する
-----	---------------



目標項目をブレークダウンして**具体的**にする(目標実施期間に関係する項目)

	ブレークダウンした項目	理由
目標1-1	無遅刻無欠席	遅刻欠席は失格になる
目標1-2	宿題・実習課題の提出	減点されないために必要

目標2	日本語能力を向上させる
-----	-------------

	ブレークダウンした項目	理由
目標2-1	IT日本語3 合格	IT会社に入るためには必要
目標2-2	日本語7 合格	JLPT 試験対策

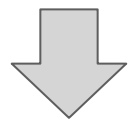
具体的な項目とは、4年生の履修科目や授業態度などから選ぶとよい

日本語7	ウェブプログラミング	ネットワーク管理	宿題提出
IT日本語3	コンピュータシステム	情報セキュリティ	無遅刻無欠席
ネットワーク プログラミング	Web情報システム	実習課題	

4 ToDo

ブレークダウンした項目を実行可能な形(動詞で表現)にします

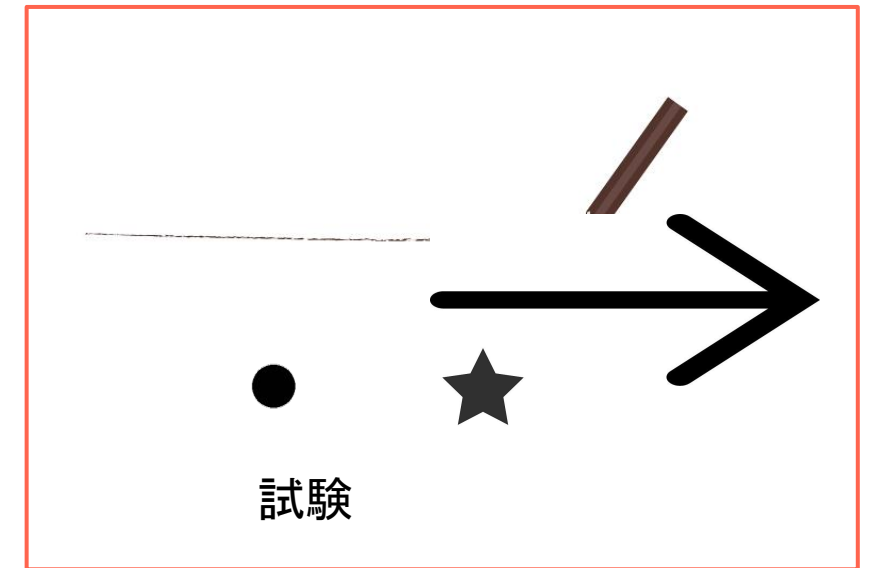
	ブレークダウンした項目	理由
目標1-1	無遅刻無欠席	遅刻欠席は失格になる
目標1-2	宿題・実習課題の提出	減点されないために必要



	実行可能な形	理由
(目標1-1)ToDo-1	24:00までに寝る	十分な睡眠と早起きのため
(目標1-1)ToDo-2	病気しないように予防する	(マスク、うがい、睡眠)
(目標1-1)ToDo-3	アラームを2個セットする	寝過ごさないため
(目標1-2)ToDo-1	家に帰って最初にすませる	後回しにしない
(目標1-2)ToDo-2	宿題・実習課題の期限をメモする	提出後も確認する

⑤ 期限

期限のない「目標」は「目標」とは言いません
期限の考え方



1) 目標の評価期間

立てた目標対策を、**始める日**から達成する**期限**まで

例：今年の目標（1年）、今期の目標（半年／四半期）

2) 期限

その目標を達成できる**時期（目安）**

例：無遅刻無欠席：その期間中の最後が期限（矢印や線で表す）

JLPT 試験：模擬試験日、本試験日など（点やマーク文字で表す）

3) 期限の設定の仕方

基本はToDoの活動項目**ひとつひとつに期限**を設定する

但し、簡略化して線やマークで表してもよい

⑥ 達成レベル(1)

達成レベル(評価の基準)がない「目標」は「目標」とは言いません
達成レベルの決め方

1) ゴールを決めたら、達成レベル(評価の基準)を決めます

例 優勝:S、メダル獲得:A、6位まで入賞:B、入賞未満:X
優秀でゴールしたか、2位／3位ででゴールしたか・・・

2) 目標項目ひとつひとつ別に決めます

例 目標項目:マラソン(今は大会出場選手のレベル)

優勝:S、メダル獲得:A、6位まで入賞:B、入賞未満:X

目標項目:サッカー(今は始めたばかりのレベル)

レギュラー選手:S、交代選手:A、補欠選手:B、練習生:X

3) 今の私がひとつの目標項目についてゴール(期限)したときに
どのレベルになれば、評価できるのか？

⑥ 達成レベル(2)

評価の段階3つ以上設定する理由

All or Nothingではない

例えば、試験で1問のみの場合

できた : 合格 All

できなかった : 不合格 Nothing

できないと思った時点で努力しなくなる(ムダ)

10問ある場合

8問以上 : 合格 S

7問以上 : 合格 A

6問以上 : 合格 B

5問以下 : 不合格 X

3問まで間違っても合格になる可能性があるため頑張る

立てた目標や計画を無駄にしない、努力の部分を残す

⑥ 達成レベル(3)

今の自分が努力してどのレベルまでいけるか

- ・達成レベルは「目標」を立てた時に
- ・期限になったら、私ができているレベルについて
- ・実行する前に決めることです

今の私

練習生



補欠選手



交代要員



レギュラー選手

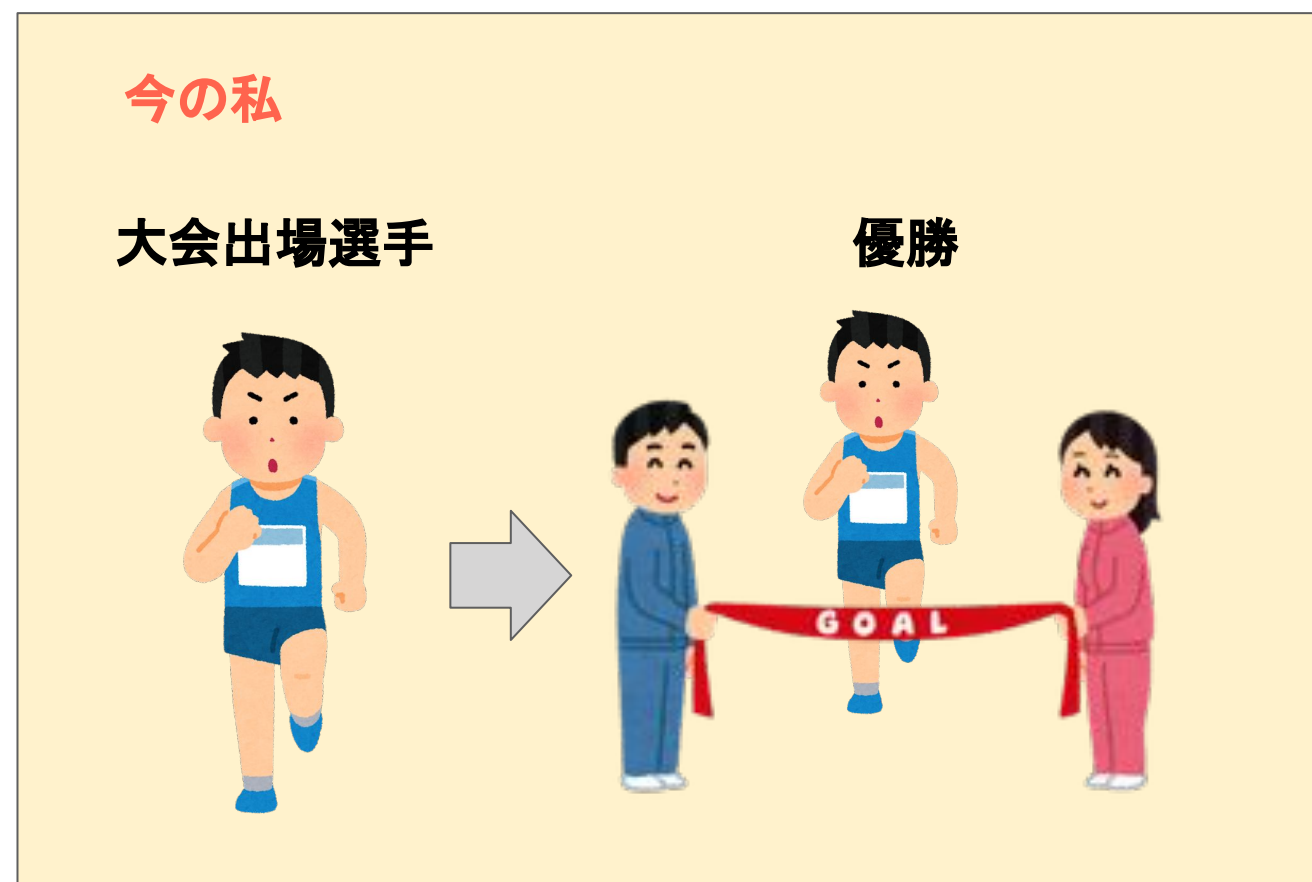
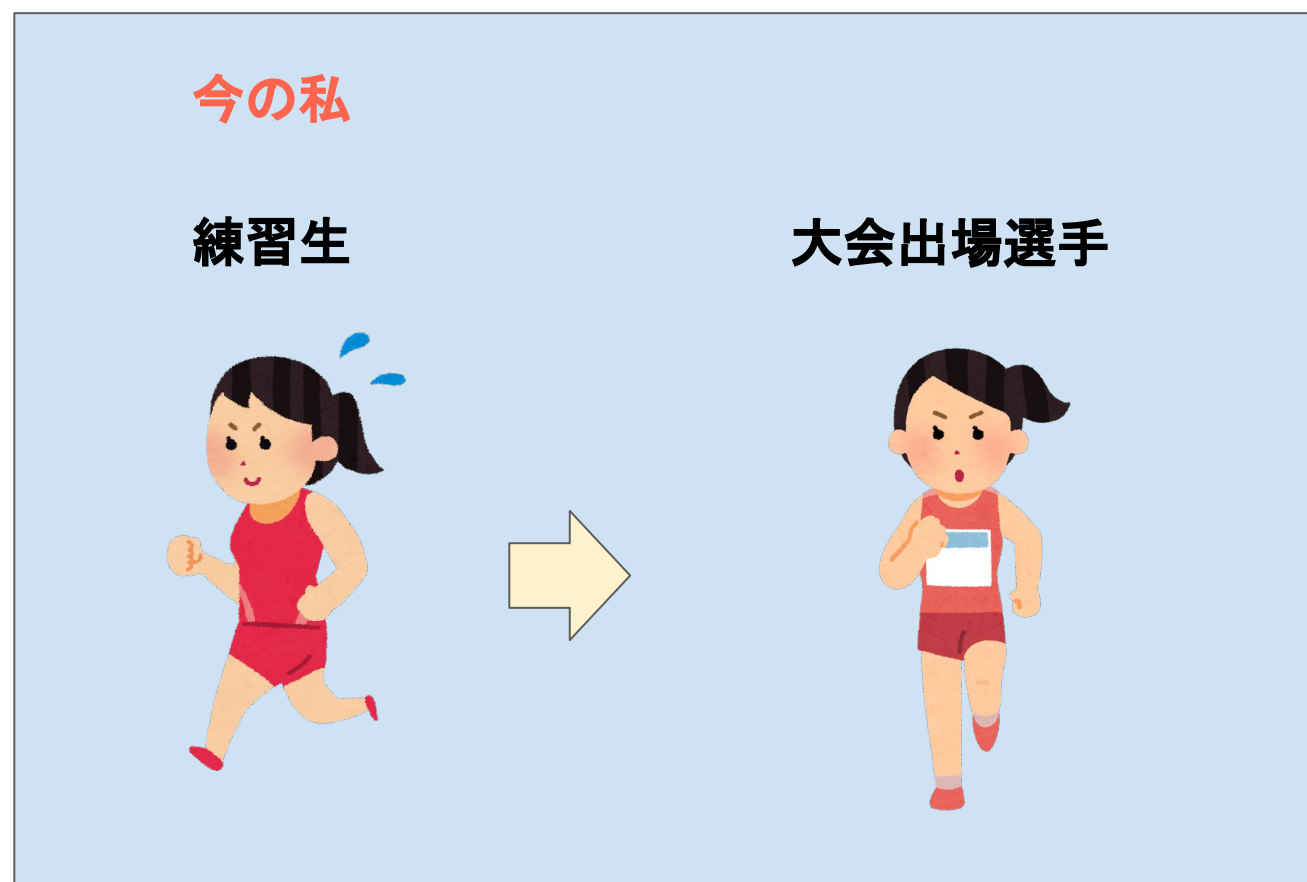


だから、計画のはじめにそのレベルを決めておく

⑥ 達成レベル(4)

項目がちがうと、今の私のレベルも目指すレベルもちがう

- ・目標項目がマラソンとサッカーではゴールがちがうはず
- ・今の私が、「大会出場選手」レベルと「始めたばかり」のレベルでは目指すレベルもちがうはず



だから、目標項目ひとつひとつ別に達成レベルを決める

宿題



- 1) 自分の目標設定シートを見直します。
<https://sal.vn/jPov70>
このフォルダーの各クラスフォルダーにあります
- 2) 期中レビュー(「実行計画」シートの14行目以降)に
期初設定した目標項目を転記し、達成率、変更点
(目標項目や達成基準等)、本人コメントを記入する。
レビューアークコメントは先生が記入します)
- 3) 評価: 提出※: 1点
達成率／コメント記入各: 1点
※: 項目、達成レベル等修正OK
(前回未提出者は新規作成してもOK)

提出期限: **次回授業の前日 PM13:00まで**

The background of the slide features a scenic view of Mount Fuji under a clear blue sky with scattered white clouds. In the foreground, there are traditional Japanese wooden buildings with dark tiled roofs, partially obscured by vibrant pink cherry blossom trees in full bloom. The overall atmosphere is peaceful and scenic.

今日の授業は終わりです
来週も元気出会いましょう！

Hẹn gặp lại vào tuần tới